

あきた労福協

2012年1月1日

NO. 105

発行

秋田県労働福祉協議会

発行責任者 米塚一成

秋田市中通6丁目7-36労館内

Tel 018-833-1875 · Fax 018-833-0506

迎

春

秋田県労福協会長 東海林 悟



新年あけましておめでとうございます。

旧年中は秋田労福協の事業推進に対して、特段のご支援とご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。昨年3月に発生した東日本大震災では、甚大な被害を受けた被災地はもとより日本全体に多大な影響を及ぼした一方で、人と人との信頼や絆の大切さを再認識させられました。被災地の早期復興を心からお祈り申し上げます。今年は国連が定める「国際協同組合年」に当たります。支え合い・助け合い・連帯の原点にかえり、被災地の早期復興・再生に向けた支援と労福協運動の推進に全力で取り組みますので、皆様からの一層のご協力をお願い申し上げ新年の挨拶とします。本年も宜しくお願ひ申し上げます。



東北労働金庫秋田県本部
本部長 今 明

2012年新春のお慶びを
申し上げます。

経済、金融、環境などあらゆる分野でグローバル化が進行し、勤労者の労働や待遇、生活スタイルまでが変化してきています。こうした時代こそ労働者福祉活動を推進している労福協の存在価値が問われています。

労働金庫も構成団体の一員として労働者福祉の増進をはかるため皆さんとともに努力していく所存です。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

秋田県労働会館

館長 石塚 久志

謹んで新年のお慶びを申
し上げます。

大震災により被災者は、いまなお不自由な生活を余儀なくされており、早期の復興を願うものであります。

今年は、2013年11月30日に迫っております新公益法人改革に大きな歩みを進めていくこと、労働会館の利用しやすい環境を作ることであります。

本年も皆さまの格別なご愛顧とご支援をお願い申し上げます。

全労済秋田県本部

本部長 工藤 雅志



新年明けましておめでとうござります。昨年、東日本大震災が発生し、「共助」の必要性そして重要性が叫ばれました。

今年は、国際協同組合年です。改めて生活協同組合の原点である「共助」の精神のもと、全労済運動の推進はもとより、労福協の一員として労働者福祉の発展に向けてさらなる努力をしてまいりたいと思っておりますので、今年も何卒よろしくお願ひ申し上げるとともに、組合員の皆様のご多幸を祈念し念頭のご挨拶といたします。

労働者福祉中央協議会

会長 古賀 伸明

新年明けましておめでとうございます。

東日本大震災を通じて私たちは「助け合い、支え合い」「人と人とのつながり」の大切さを学びました。

これからも絆・助け合いの輪を復興・再生、そして日本社会全体の創り直しにつなげていきましょう。

今年は、国際協同組合年が幕を開けます。協同組合が連帯経済の担い手として、社会的存在感や価値、力量を高めていく時です。

中央労福協は、「連帯・協同で作る安心・共生の福祉社会」をめざし、幅広いネットワークとの協同で労働者福祉運動の基盤強化に取り組んでいきます。

「世界中の人たちが幸せにならなければ個人の幸せはない」（詩人・宮沢賢治）

「一部の貧困は全体の繁栄にとって危険である」

（ILOフィラデルフィア宣言 1944年）
という言葉を噛みしめたいと思います。

